

はじめに


初めまして星読みコーチのみゆきです☆

突然ですが、あなたは今の人生に点数をつけるなら何点ですか？

私は3年前までは70点ぐらいでした。そのときまでは「人生平均点が素晴らしい」という思い込みで生きていました。もし今、この質問をされたら自信を持って「満点です」と答えるでしょう。

私は西洋占星術師として活動しています。いわゆる普通の星読み師ではなく、日常の中で星を使い、自分の力で人生をワクワク楽しく生きる。そんなプログラムをオンラインで提供しています。

本業は美容師です。母の経営するサロンで働いています。副業としてスタートさせた星読みコーチのお仕事のご縁から、起業塾での講師という顔でも活動中。プライベートでは5歳、8歳の宇宙人のような男児にてんてこ舞い状態。全部で4足のわらじでパワフルに活動しています。



一見忙しく、追われるような日々にも思われるかもしれませんが、私にとっては最高に楽しい毎日!! なぜかというのと、すべて自分の好きなことだからだけだから♡

ですが、4年前まではまったく違いました……。

自分のやりたいことはなんだろうと迷走して「自分迷子ちゃん」状態。自分にはもった何かあるはず!!! という熱い気持ちで常に心がざわついていました。しかし、何から手をつけていいのかわかりませんでした。私にはこれといった取柄もないし、見た目が自慢できる身体や顔を持つてもいない……。

めちゃくちゃ頭がいいわけでもなく、絶対に誰にも負けないぞというスキルや才能もない。美容師というお仕事は好きだったけれど、それでトップを目指したいという情熱とはちよつと違う感覚。めちゃくちゃ中途半端でしょう(笑)。自分を探せば探すほどドツボにハマって「ない」のオンパレード、迷宮入り。時には途方にくれてみたり、時にはがむしゃらに走ってみたり、そんなことを繰り返していました。

周りに相談しても「別に今で十分幸せじゃない？」と諭されて終了。たしかにそうです、現実には大きな不満もありませんし、衝撃的な事件が起きたわけでもないのですから。「なんでこんな気持ちになるのだろう、なんて貪欲で傲慢な女だ！」と自分を責めたこともあ
るぐらいです。

しかし私の中の「このまま人生終わるなんて嫌だ！」という気持ちはとても強く育って
いました。もう無視できなかつたのです。

そこから「**自分に正直に生きよう！ 私の人生こんなもんじゃないでしょ**」という自分の心のつぶやきを信じて動きました。そこから人生が180度変化していくことになりました。

もともと「周囲の期待に応える私でいなくては！」「みんなが喜ぶ選択をしたほうがいい！」といういい子ちゃんキャラの私。軸は完全に他人軸で生きていたので、とにかく自分の意見を言うことが怖かった。「何て思われるのだろう」「きっと私の本音を言ったら嫌われるかも」「引かれるよな」とありもしない勝手な妄想を膨らましていました。

そんなときに出会ったのが西洋占星術でした。

とてつもなく面白い世界でした。「どうやって読むのだろう、なんで未来がわかるのだろう」と頭の中はハテナだらけ。占いを怪しいと斜に構えていた生意気な私でしたが、真剣に勉強したくなったのです。

学んでみたら怪しくもなんともなく、これは学問なのか……と感じ、もっと知りたいという気持ちがむくむくと湧き上がりました。

ホロスコープを読み進めていくと自分の心の衝動が「何だったか」も見つかり、絡みついてきた紐がスルスルくと解けていきました。「あー私、いい子ちゃんじゃなくてもいいのか」とガチガチの鎧が崩れていったのです。

そのとき、これまでの自分の在り方ではなく「未来の自分はどのようにでもなる、可能性しかない！」とキラキラと満ちあふれている気がしたのです。

そこから大きく現実が変化していきました。

- ・好きなことをお仕事にできた
- ・素敵な出会いが増えた

・収入がアップした

他にも数えたらキリがないぐらい……。すべては自分自身が心に嘘をつかずに行動したことからスタートしたのです。星が教えてくれたのはそのヒントにすぎません。星で決まる運命なんて何ひとつなくて、**可能性にどれだけ自分がエネルギーを注げるかなのです!!**

冒頭の質問ですが、点数を思い浮かべたときに100点を満点に設定していませんでしたか？ 常識が変わっていく今の時代、満点なんてなくなります。「自分の基準を持ち、自分で決めて自分で動く」その強さが必要になります。

この本には、星からのヒントとそれを使いこなす術をたくさん散りばめました。もしもあなたの心をぎゅうぎゅうに結んでいる紐があるならば、少しづつ緩めていってください。そして、あなたがもともと持っているエネルギーを最大限に活かしてほしいのです。この本があなたの第一歩を踏み出す勇氣になれば嬉しいです。